

# 神戸災害ボランティア ネットワークニュース

第61号

2013年 2月発行  
東京都生活協同組合連合会  
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会  
03-3383-7800

阪神淡路大震災から18年目を迎える2013年1月12日に国際フォーラム地上広場において開催されました。震災から学ぶこと、私たちに出来ることを考えあい、震災と向き合い、忘れないこと、つながることの大切さを実感する1日となりました。コープ災害ボランティアネットワークのメンバーも炊き出し訓練のボランティアとして『お汁粉炊き出し』を行いました。

いま、わたしたちに、できること。

## KOBE MEMORIAL 1, 17灯りのつどい

### 炊き出し



あんこをお湯でのばし、大きな炊き出し用釜であんこをかき回します。力の要る作業です。



今私たちに出来ること、語り続け、忘れないこと...



忘れないということは私たちが防災・災害対策に関心を持つということ...



道行く人にお知らせ呼びこみ中!



白玉を入れお汁粉を注いで提供します



防災クイズに挑戦!



けむりハウス

灯りのテント  
グラスに思い思いの絵を描きました。



パネル展示



お汁粉をいただきながらメッセージに目を通す参加者



おしるこおいしかったよ!

募金総額は  
17619円

東京災害ボランティアネットワークに被災者支援募金として贈呈しました。

**午後5時46分 黙祷**  
18年前の1月17日午前5時46分にあの阪神淡路大震災が発災しました。みんなで作ったグラスをそれぞれ手に持ち阪神淡路大震災によって命と暮らしを奪われた犠牲者の冥福を祈り、黙祷をささげました。



# 三宅島お掃除ボランティア

東京の生協は、2000年の三宅島雄山の噴火から、支援物資の供給だけでなく、さまざまな形で災害支援を続けてきました。全島避難解除となった2005年から、東京災害ボランティアネットワーク(以下、東災ボ)が“三宅島年末お掃除ボランティア”活動を行っています。東災ボの一員である東京都生協連もコープ災害ボランティアネットワーク(以下、CO災ボ)のメンバーや会員生協職員を募り、お掃除や島民との交流を続けています。

今年度は11月30日(金)からと12月14日(金)からの2回実施されました。他団体のボランティアと一緒に掃除をしました。生協からはCO災ボメンバーと、職員あわせて17名が参加しました。



仮眠をとり「風の家」に集合。坂上氏よりお掃除ボランティアの説明をうけるお掃除ボランティア



お掃除先で窓拭きや高いところのお掃除をするボランティア



交流会



観光では味わえないふれあい、島の方たちより元気をいただきました。



今回は中学生が参加できずちょっと寂しくも全員集合!

## お掃除先宅お礼訪問& 島内視察



日曜日には昨日お掃除に伺ったお宅をみんなでお礼方々伺いました。一軒のお宅では全員にデコボンなどみかん狩りをさせていただきました。



1983年の噴火で阿古地区は溶岩に飲み込まれました。海の近くにある家は海水を使った消火で逃れたそうです。



島内視察で説明をする坂上氏の話真剣に聞き入るお掃除ボランティア



雄山では水蒸気が出ていました。



避難解除になってお掃除ボランティアが宿舎した建物を見学

## 交流もちつき会

毎年恒例のもちつき会が12月8日『風の家』で開催されました。東京都生協連の竹内専務より東災ボ上原事務局長に50万円の寄付金を贈呈しました。中学生の演奏でみんなで歌の合唱をしたり、東日本大震災の被災者に全員のメッセージをビデオレターにしました。

